

経営比較分析表（平成28年度決算）

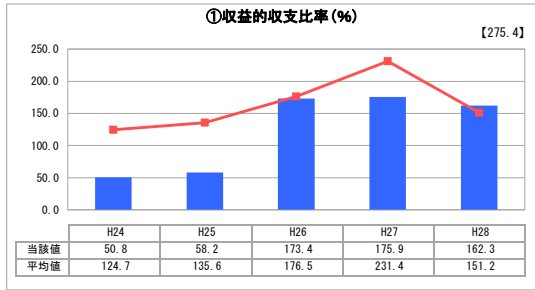
岐阜県大垣市 東外側駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	23	

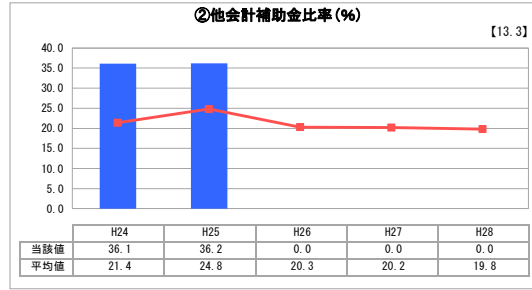
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	5,471
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
200	200	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

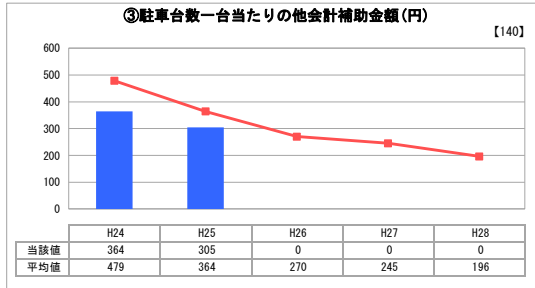
1. 収益等の状況



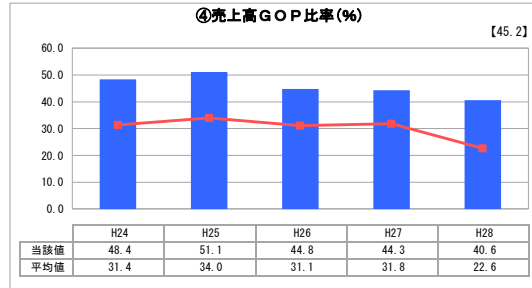
「経常損益」



「他会計補助金割合」

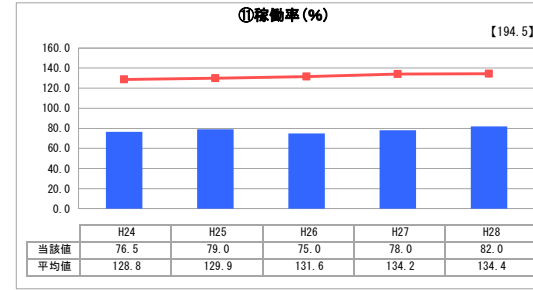


「他会計補助金額」

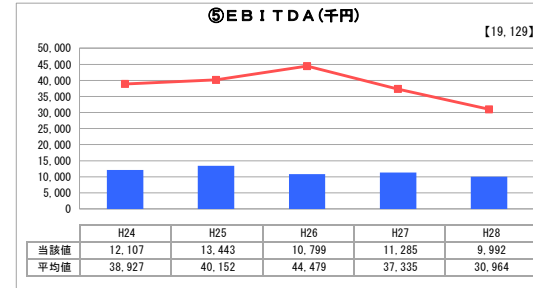


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

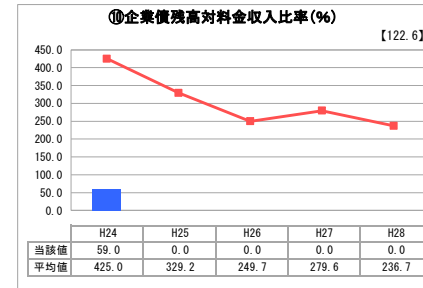


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	77,252
⑧設備投資見込額(千円)	-



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について

平成25年度で地方債の償還が終了したため、平成26年度以降収益的収支比率が良くなっている。平成28年度で若干収支差引額が減少しているが、自動料金精算機を平成28年度からリース契約に切り替えたため、毎年度費用が発生するようになってためである。

地方債の償還終了に伴い、平成26年度以降は一般会計からの繰入が必要ない状態となっており、収支状況は安定している。

2. 資産等の状況について

東外側駐車場は、平成5年度設置で比較的新しい施設である。

駐車場整備計画の見直し（施設の整備、統合等も検討予定）を平成32年度以降に予定しているため、設備投資見込額については不明としています。

3. 利用の状況について

収容台数200台という比較的大規模な駐車場であるため、稼働率としては平均を下回っているが、毎年安定した収入を確保できている。駅から徒歩圏内という立地条件もあり、今後も需要は見込まれる。

全体総括

東外側駐車場は、施設が比較的新しく、地方債の償還も終了している。また、駅から近い大規模な公共駐車場として、今後も需要は見込まれるため、当面は経営的に安定した状態を継続できる見込である。

経営比較分析表（平成28年度決算）

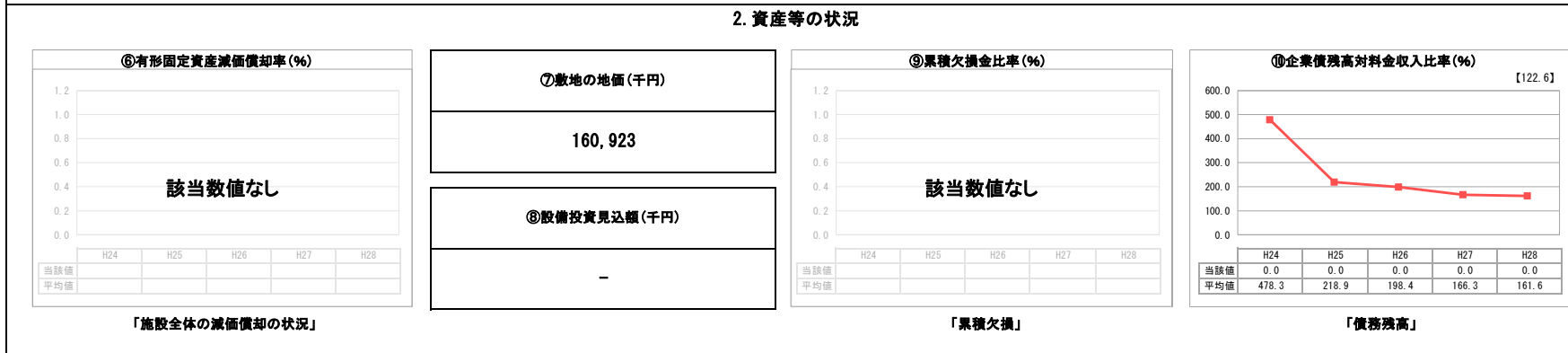
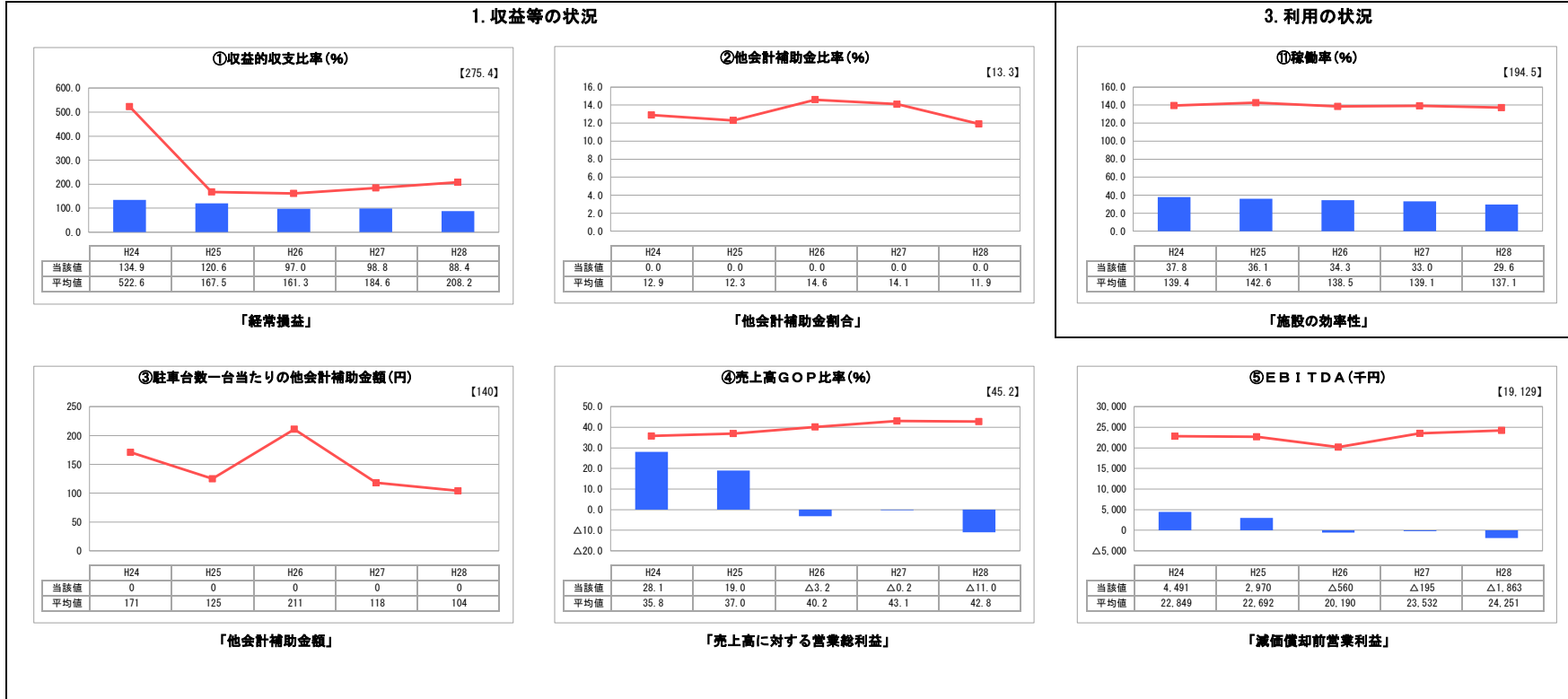
岐阜県大垣市 清水駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	40	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
無	有	5,259
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
230	200	導入なし

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

駅から遠いという立地条件もあり、年々利用者が減少しており、当駐車場の収益だけで維持管理費を賄っていない状況である。平成26年度から自動料金精算機をリース契約に切り替えたため、売上高GOP比率はさらに減になっている。一般会計からの繰入はないが、他の駐車場の収益で補っている状況が続いている。

2. 資産等の状況について

清水駐車場は昭和51年度に設置しており、耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。駐車場整備計画の見直し（施設の整備、統合等も検討予定）を平成32年度以降に予定しているため、設備投資見込額については不明としています。

3. 利用の状況について

駅から遠いという立地条件のため、年々利用者数が減少している。

全体総括

建設後40年が経過し、今後施設の修繕費も見込まれる。今後も大幅な利用者数の増加も見込まれない。市全体の駐車場整備計画を見直す中で、清水駐車場のあり方について検討することとしている。

経営比較分析表（平成28年度決算）

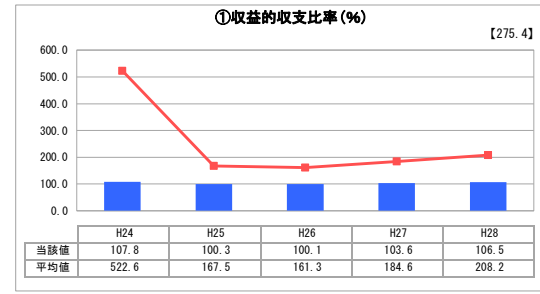
岐阜県大垣市 丸の内駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	42	

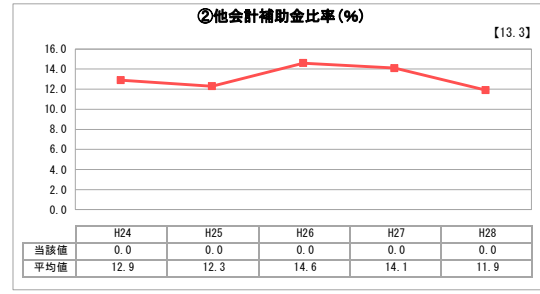
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	有	6,233
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
251	200	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

1. 収益等の状況

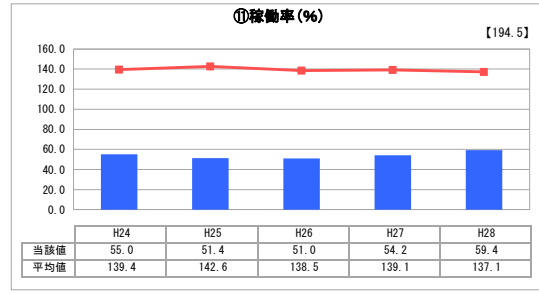


「経常損益」

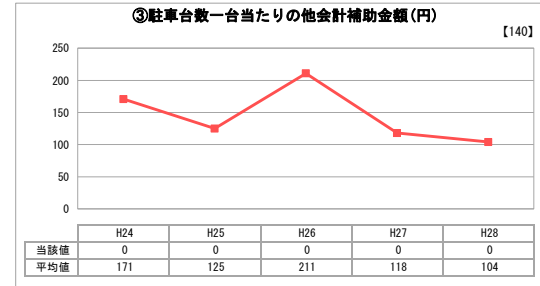


「他会計補助金割合」

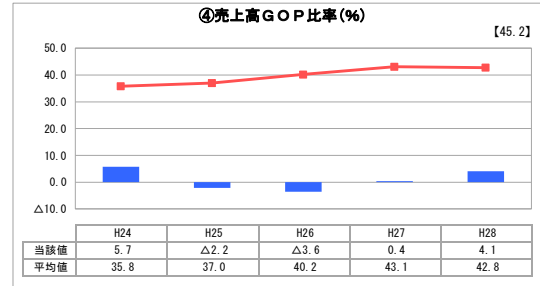
3. 利用の状況



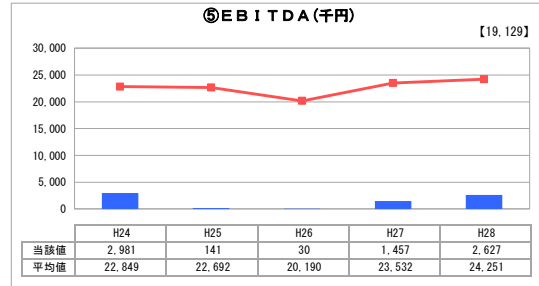
「施設の効率性」



「他会計補助金額」



「売上高に対する営業総利益」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

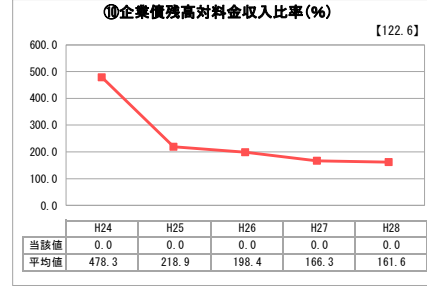


「施設全体の減価償却の状況」

⑧敷地の地価(千円)
144,988
⑨設備投資見込額(千円)
-



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
丸の内駐車場は、市役所に隣接する駐車場で、駐車場事業の事務所を設置しており、他の駐車場に振り分けることのない負担金や基金への積立金などの費用を計上している。上記理由もあり、収支状況としては、収入と費用がほぼ同額の状況で推移している。また、一般会計からの繰入も行っていない。

2. 資産等の状況について
丸の内駐車場は、昭和49年度に設置しており、耐用年数も経過し、老朽化が進んでいる。駐車場整備計画の見直し（施設の整備、統合等も検討予定）を平成32年度以降に予定しているため、設備投資見込額については不明としています。

3. 利用の状況について
収容台数が251台の大規模駐車場であり、定期利用が中心で、中心市街地等のイベント開催時等に一般利用が増加する状況である。

全体総括
建設後42年が経過し、施設が老朽化が進んでいる駐車場である。丸の内駐車場は、新庁舎建設後にあり方の検討が必要な駐車場であり、全体の駐車場整備計画を見直す中において検討する。

経営比較分析表（平成28年度決算）

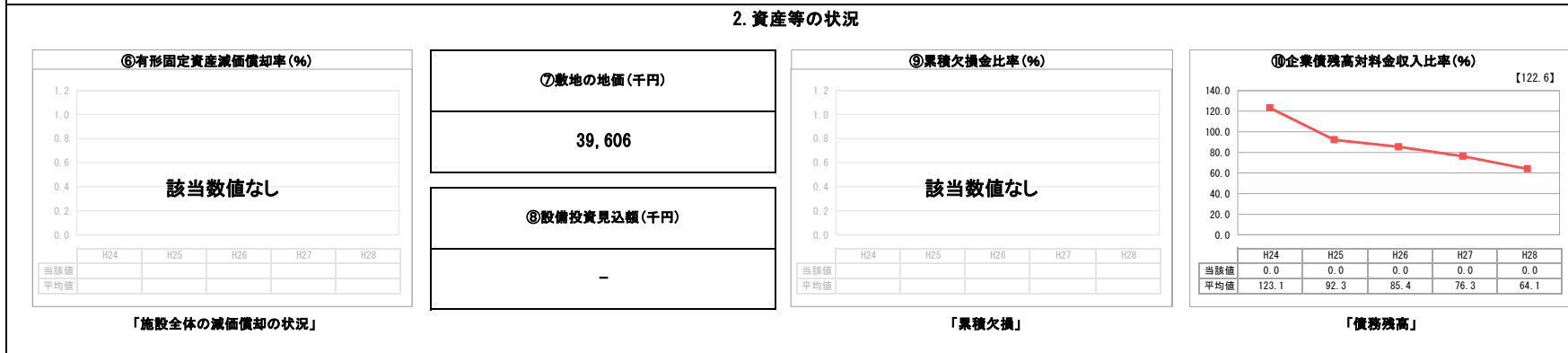
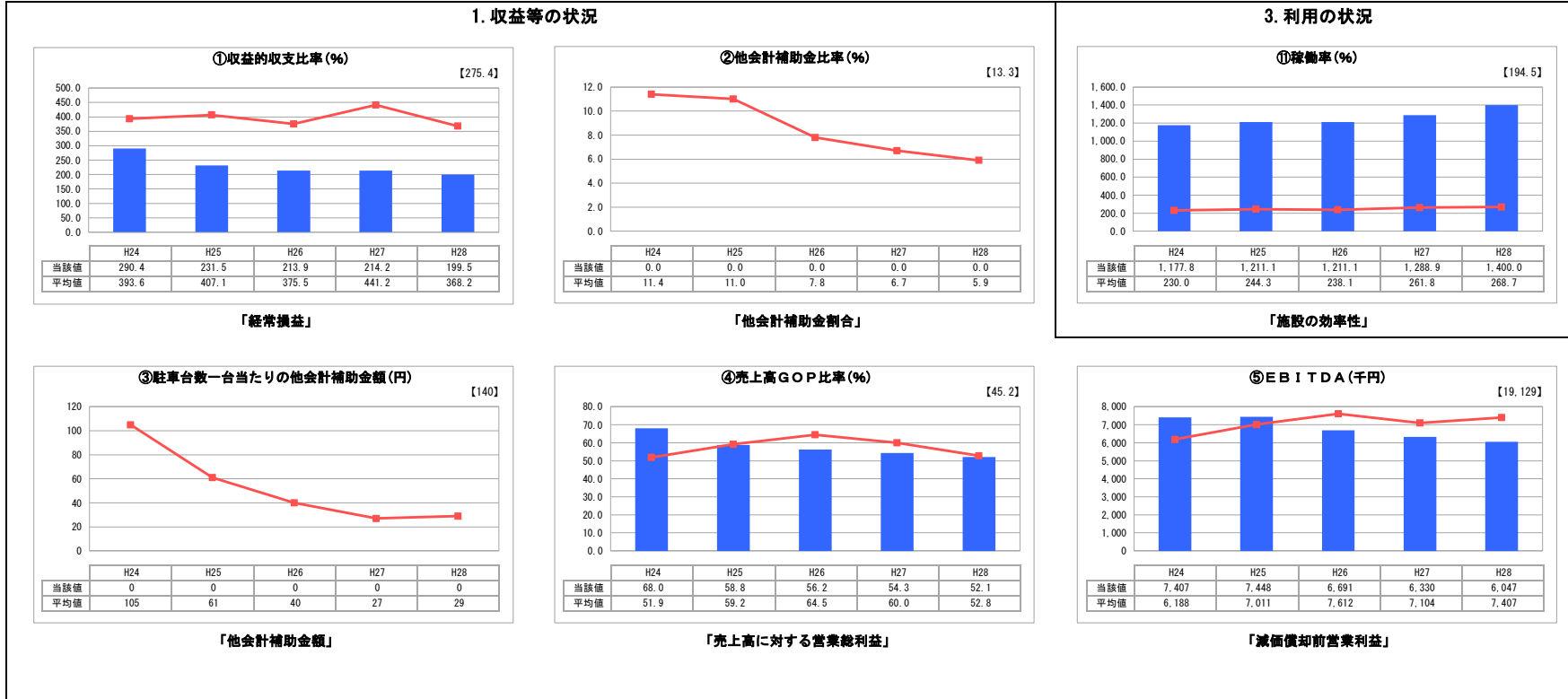
岐阜県大垣市 駅南駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	29	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	443
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
17	300	導入なし

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

大垣駅に隣接する駐車場で、収容台数が17台であるが、広場式の駐車場であるため維持管理費も少ないため、収益性が高いが、20分以内無料であり、短時間の利用が多いため、稼働率が平均以上となっているが、収支比率は平均を下回っている。駅周辺には1日料金設定を設けたコインパーキングが増加しており、収入は下降傾向にある。

2. 資産等の状況について

広場式で、自動料金精算機もリース契約であるため、駅南駐車場の資産は土地のみである。駐車場整備計画の見直し（施設の整備、統合等も検討予定）を平成32年度以降に予定しているため、設備投資見込額については不明としています。

3. 利用の状況について

大垣駅に隣接していることと、20分無料であることから、利用者数が多く、稼働率は平均を大幅に上回っている。

全体総括

大垣駅に隣接しており、収容台数は少ないが、需要の高い駐車場である。また、広場式であるため、維持管理コストも低く、収益性が高い。

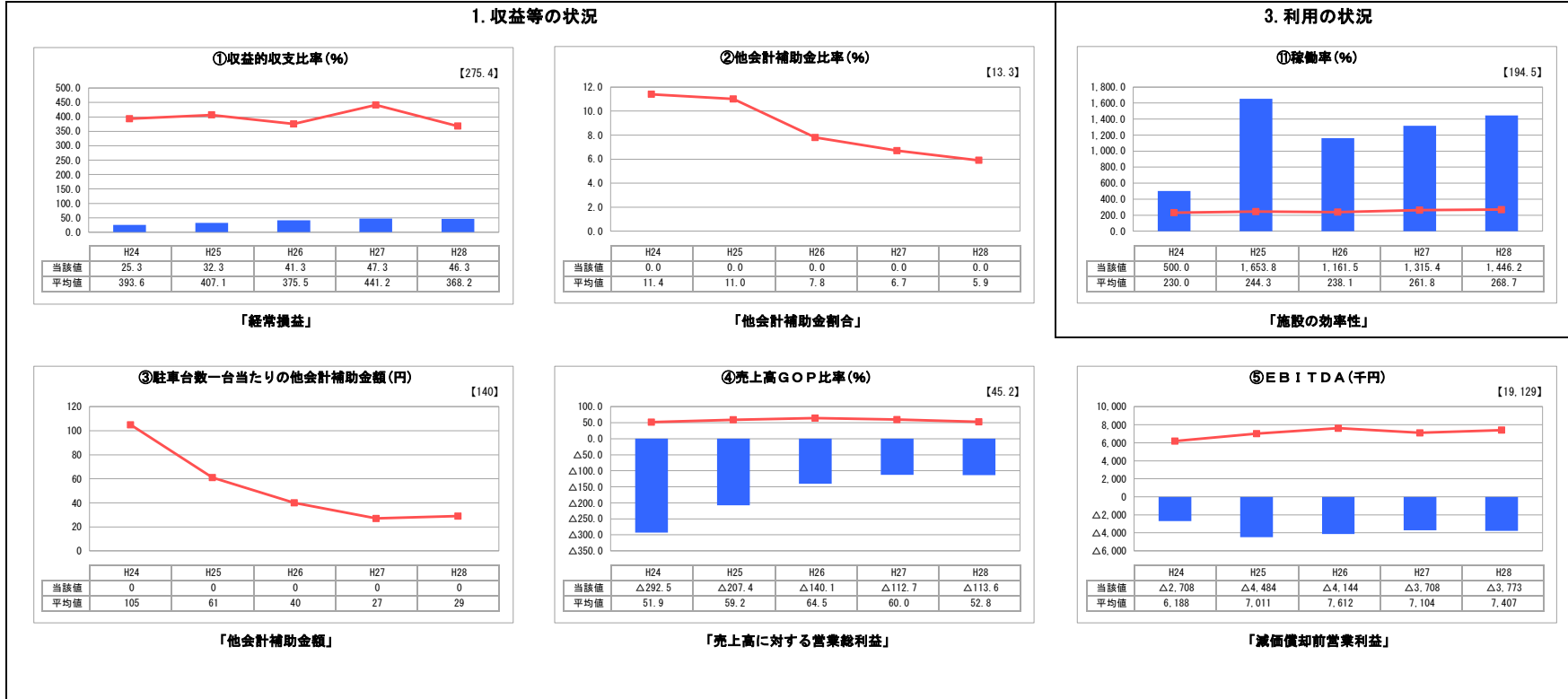
経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県大垣市 駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	4	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	387
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
13	300	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

駅北駐車場は、平成24年度に大垣駅北口広場整備の完了に合わせて供用開始した施設であるが、駅に送迎するための20分以内の無料駐車がほとんどで、駐車場の収入で維持管理費を賄えておらず、他の駐車場の収益で賄っている状況である。

2. 資産等の状況について

広場式で、自動料金精算機もリース契約であるため、駅北駐車場の資産は土地のみである。駐車場整備計画の見直し（施設の整備、統合等も検討予定）を平成32年度以降に予定しているため、設備投資見込額については不明としています。

3. 利用の状況について

駅に隣接している駐車場であるため、利用者が多いため稼働率は高いが、ほとんどが20分以内の無料駐車の利用であるため、収益に反映されない。平成24年度は、9月から供用開始のため稼働率が低くなっている。

全体総括

駅北駐車場は無料駐車利用がほとんどで採算が取れていないが、利用率が高く、需要が高い駐車場であるため、あり方について、市全体の駐車場整備計画の見直しにおいて検討することとしている。